

えいせい

NO. 27 2010年12月27日発行
発行責任者 森越 初美
TEL 03-5320-7412 (直)
内線 63-210
FAX 03-3349-1502
Eメール info@eiseikyoku-shibu.com
URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

看護体制の見直しで

患者サービスの向上、労働条件の改善を図る

東京都は12月24日、一般・特別・公営企業会計で総額11兆7,642億円の「2011年度予算原案」を発表した。一般会計の予算規模は、6兆2,360億円で、前年に比べて0.4%の減ですが、6年連続で6兆円を超える大型予算となっている。

病院経営本部の一般会計の内示額は、180億円で前年より18.8億円(9.4%)の減となっている。病院会計は、1889.8億円で前年より5.6億円(0.3%)の増となっている。

職員定数は、知事部局は170人減の25,261人、公営企業を合わせると370人の減と厳しい査定内容となっている。病院経営本部は、各病院のGCU看護体制の強化、多摩総合医療センターの看護体制見直し、小児総合医療センターの病棟開設など増員で、(111増、88減)で、23名の増員で評価できる内容になっている。

GCUの増員、精神科病棟看護体制整備については患者サービスの向上、労働条件の改善などで評価できる

小児総合医療センターは、GCU看護体制の強化7名、精神科病棟看護体制整備32名、看護担当科長1名増の査定である。

現在、GCU48床はA・Bの2看護単位で3人夜勤体制と4人夜勤体制で行っている。そのため、患者の重症度により、患者を移動するという煩雑な行為が行われている。

6:1の看護体制になり、両看護単位が4人夜勤体制になることで、煩雑な業務がなくなり患者サービスが向上し、職員の労働条件も改善される。

精神科病棟看護体制整備の32名については、4月開棟予定の2病棟分の定数配置であり、すでに1病棟は院内運用で開棟されている。

こども救命センターの運営、多摩小児医療体制の充実を図るという予算化がされている。センター的役割を果たしていくために、ER、PICU、手術室を中心に人員体制の強化および器械の整備、また、職員の研修体制など引き続き行う必要があるがその具体的な裏づけがない。

人員要求を必要とする部署

- ☆ 感染病棟の夜間入院が多い「空の5番地」の3人夜勤体制
- ☆ 血液腫瘍科「森の3番地」の4人夜勤体制
- ☆ からだ病棟について、最低3人夜勤体制
- ☆ 理学療法・作業療法・言語聴覚士の各専門の人員増
- ☆ からだ病棟の保育士の増員

区分	H23年度 条例定数	H22年度 条例定数	差引
東京都職員定数条例	38,607	38,977	△370
知事部局等	25,261	25,431	△170
公営企業			
交通局	6,654	6,684	△30
水道局	4,053	4,133	△80
下水道局	2,639	2,729	△90
小計	13,346	13,546	△200
学校職員定数条例	62,529	62,312	217
警視庁設置条例	未確定	45,918	—
東京消防庁職員定数条例	18,080	18,080	0

放射線技師、看護体制見直しは業務量に見合った人員配置で評価する

多摩総合医療センターでは、診療放射線業務体制強化4名、棟看護体制見直し12名となっている。救命救急医療体制は日夜を問わず、運ばれてくる。患者の生命を守るため各部署の充実を求めてきたが、今回要求の一部ではあるが、実現したことは評価したい。

- ☆ すべての病棟で3人夜勤体制、7対1基準の実施の増員
- ☆ 医師の勤務実態に見合った増員

在宅療養支援体制の強化など改善の課題は多い

神経病院は、定数の動きが無かった。難病患者の在宅療養支援体制の強化、病棟看護師の業務量の増、年休取得・妊産婦の夜勤免除・育児時間の保障など改善する課題は多い。

病院の経営管理は病院経営本部がベテラン 企業運営(PFI)に委ねるメリットは無い

新築住宅に住んで10ヶ月に満たない頃より修理箇所がたくさん発生し、使い勝手の悪い建物構造等も出てきており来年度に修繕しなければならない状況がいくつもある。こんなことは一般家庭の住宅には許されない。本来こうした修繕は清水建設が持ち速やかに行うべきではないか。心の病棟では「お金がない」との理由でドアや壁紙などの修理が据え置かれ、ブルーシートのままになっているところがある。丘の広場の手すりはこの夏の暑さで高温になり「患者さんに触らせないで」と通達し、「塗料を塗る予算がない」とのこと。

直営の時代にはこんなことはなかった。速やかにPFIでの契約がどうなっているのか明らか改善することを要求する。